

2016 年度活動報告 CJP 授業：読解 A

内藤 真理子（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

本文は、本授業は、中級後期以上の学生を対象とし、1) さまざまなジャンルの新聞記事について、概要が理解できるようになること、2) 記事の内容について説明し、話し合いができるようになることを目標とした。授業は週1回であり、学生の発表が主な活動であったため、教材は使用していない。

2. 授業内容

授業の内容は表1のとおりである。中間発表までは、各自が興味を持った記事を毎回2本スクラップし、2回の発表を行った。授業期間の後半は、各自が調べる記事のテーマ決め、記事のスクラップや発表はそのテーマに沿ったものにした。昨年度も学期末にポスター発表を行ったが、テーマ選びに時間をあまりかけなかったためか、焦点が絞れていないポスター発表があった。このため、今学期はテーマ選びに1コマを当て、PCで新聞記事を調べながら、タスクシートを使ってテーマを絞りこんでいく活動を加えた。

表1 主な授業内容

回	授業
1	コース説明
2	教員のモデル発表
3～6	クラス内記事発表
7	中間発表（LA 参加）
8	ポスター発表のテーマ決定
9～11	クラス内記事発表
12	ポスター作製
13	ポスター発表（LA 参加）

3. 成果と今後の課題

学期途中で、レベル5（上級前半）の学生が、他の学生の発表が難しすぎて理解できないと、履修中止を行った。選択科目は学生のレベル差が大きいため、他の学生の発表を聞くとなると困難を感じる学生もいるだろう。今後は、グループに分かれ、レベル別で発表を行うなど、受講生に合わせて柔軟に変更していく必要がある。

授業アンケートでは、5人中4人が「満足した」を選択したが、1人が「あまり満足していない」を選択した。本授業は、主体的に課題を進めることが求められ、また、課題の量も少なくはない。今後もこの授業デザインを踏襲するのであれば、学期はじめにしっかりと授業内容や課題の説明を行い、学生の同意のもとで授業を進めていくことが、この授業を成功させる鍵となるとであろう。